

令和8年度 第1回 喜多方市DX推進協議会 (会議録)

■日時

令和8年7月21日(火) 午後3時00分～午後4時30分

■場所

喜多方市役所 ホール棟2階 大会議室

■出欠

1 出席委員(11名)

高橋利維委員、太田悟委員、山中宏行委員、渡部孝一委員、佐藤健太郎委員、
結城友次委員、武藤正人委員、和田典久委員、山口稔委員、江川邦徳委員、
岩城雅仁委員

2 欠席委員(4名)

馬場貴史委員、大西尚和委員、高橋哲夫委員、物江光一委員

3 市出席者

(市長) 遠藤忠一、(企画政策部長) 小荒井浩、(参事兼企画調整課長) 伊藤博之、
(企画調整課長補佐) 藤井慎一、(企画調整課DX推進係長) 五十嵐司、
(企画調整課主査) 湯上孝弘、(企画調整課主査) 高橋美樹

■次第

委嘱状交付

1 開会

2 市長挨拶

3 会長選出

次のとおり選出した。

会長 会津大学復興創生支援センター 上級准教授 高橋 利維 委員

4 会長挨拶

5 諮問

6 議事

(1) 協議事項「第4期 喜多方市DX推進実施計画について」

※「議事録」のとおり。

7 その他

次回のDX推進協議会は、令和9年2月頃を予定しています。近くなりましたらメール等でご案内いたします。

8 閉会

■議事録

議事(1) 協議事項「第4期 喜多方市DX推進実施計画について」

※ 事務局が「【資料1】第4期 喜多方市DX推進実施計画」のうち、基本方針1を説明。

【質疑】

(委員)

事業No.3「窓口開庁時間の短縮」は新規事業とのことですが、短縮する時間帯や具体的な取組内容について教えていただけないでしょうか。例えば、コンビニで住民票が取れるようにするなど、具体的な策をお聞きしたいと思います。

(事務局)

窓口開庁時間の短縮にあたっては、市民の方に不便をおかけしないことが前提です。オンラインで対応できる手続きを増やすことで来庁しなくてもよくなりますし、来庁された方に対しても、わかりやすいご案内や申請書の見直しにより負担を軽減できると考えています。まずは時間帯別の来庁者数を調査し、現状を把握した上で、今のサービス水準を維持しながら開庁時間を短縮できる方法を検討してまいります。

(委員)

人によって来庁できる時間帯は異なります。オンライン化を含め、現状調査の結果を踏まえながら丁寧に進めていただきたいと思います。

(委員)

事業No.5「オンライン予約・申請基盤整備」についてです。以前は体育館等の利用状況はシステムより閲覧できましたが、予算が削られてしまったのか、終了してしまいました。また、施設によって予約状況の公開方法が異なるため、利用者にとってわかりにくい状況です。押切体育館や公民館など、すべての施設で統一した方式で空き状況の確認・予約申請ができるようデジタル化を進めていただきたいと思います。オンラインで予約申請を受け付けているという情報も掲載されていませので、周知も含めてお願いします。ご意見です。

(事務局)

いただいたご意見を踏まえ、市民の方が不便のないよう、担当課と協議しながらデジタル化対応を進めてまいります。

(委員)

事業No.1「コンビニ交付サービスの実施」について、コンビニでの発行件数とあわせて、窓口での実際の発行件数も示していただけると、全体に占める割合や増減の傾向が把握でき、判断材料になります。可能であれば掲載をお願いします。

(事務局)

令和7年度の割合は現在集計中ですので、取りまとめ次第ご報告いたします。参考までに、令和6年度は17.4%、令和5年度は15.5%でしたので、令和7年度は20%近くになっているものと推測されますが、確認してご報告します。

(委員)

3点お聞きします。1点目は、事業No.1「コンビニ交付サービスの実施」について、今後、交付できる証明書の種類を増やす予定があるかお聞きしたいと思います。2点目は、事業No.13「SNSでの効果的な情報発信」について、ユニークユーザーやアクティブユーザーの数を把握しながら進めているかどうか確認したいと思います。3点目は、事業No.14「議会FMラジオ中継」について、実際にどのくらいの方が聴いているのか把握しているでしょうか。流しているだけでは効果の検証ができないと思いますので、確認をお願いします。

(事務局)

1点目のコンビニ交付の証明書拡大については、現在は住民票、戸籍、税証明、印鑑証明が対象ですが、それ以上の拡大については担当課へ相談するとともに、国への申請等が必要である可能性があるため、確認してまいります。

2点目のSNSについては、アクセスデータの収集が十分にできているとは言いきれない状況ですので、現状分析も兼ねてデータ収集に取り組んでいきたいと思います。

3点目のFMラジオの視聴者数については、視聴者数を把握することができるか、担当課に確認します。

(委員)

私たちのところでもSNSで発信をしていますが、アクティブユーザーは少ないのが実情です。モニター制度を設けるなど、利用者の意見を取り入れながら充実を図っていただければと思います。

(委員)

事業No.11「オープンデータの活用」について、公開データセット数が311件になったとのことですが、具体的にどのようなデータを公開しているのか、いくつか例を挙げただけですか。また、今後どのような内容に広げていくお考えかお聞きしたいと思います。

(事務局)

現在は、人口、2年に1回発行の「統計きたかた」、避難所の位置、フリーWi-Fi利用可能場所の一覧などを公開しています。データセット数は公開ファイル1件ごとにカウントしており、それが311件となっています。従来は統計部門で更新できるデータが中心でしたが、他の課にも働きかけを行い、今年度は教育委員会の児童生徒数の公開も始め

ました。今後は関係課にお声がけし、オープンデータにできるものがないか取り組んでいきたいと思います。

※ 事務局が「【資料1】第4期 喜多方市DX推進実施計画」のうち、基本方針2を説明。
【質疑】

(委員)

事業 No. 29「最新のデジタルツールに関する情報収集と導入の検討」について、生成AIに関する先進自治体の視察を行ったとありますが、どこの自治体を訪問し、どのような取組を学ばれたのかお聞かせいただければと思います。

(事務局)

山形県南陽市役所を視察しました。人口約3万人の自治体ですが、生成AIについてセミナー等にも出演している識見豊かな職員がおり、生成AIの活用に先駆的に取り組んでいます。職員向けにコラム形式の読み物を定期配信したり、効果的なプロンプトの作り方を一般公開して積極的な活用を促したりするなど、参考になる取組を伺いました。本市でもコラムの配信を始めており、視察の成果を踏まえて取り組んでいます。

(委員)

事業 No. 23「リモート用PCの導入」について、緊急時に備えリモートワークとのことですが、希望する職員であれば誰でも利用できるのでしょうか。また、個人情報の流出等、セキュリティ面の対応についてもお聞きしたいと思います。

(事務局)

テレワーク用のPCを数十台用意しています。緊急時とはコロナが深刻化した場合等を想定しています。セキュリティ面については、他の団体でも利用実績のあるツールを活用しており、技術的な対策を講じています。また、ルールを守っていただくことを前提に貸し出しています。

(委員)

希望する職員であれば誰でも利用できるのでしょうか。

(事務局)

現在は、所属長の許可があれば貸出しています。今のところ台数が不足して貸し出せなかったということはなく、希望する方全員に貸出できております。

(委員)

KPI・目標値を基本方針ごとに設定していますが、経験上、基本方針単位の設定では目標が曖昧になりがちです。数値で表しにくい定性的な取組や市民の意見についても、捨

てることなく取りまとめることが重要ではないでしょうか。A I 関係をはじめ様々なプロジェクトが成果を上げている部分もありますので、定性的な評価も積極的に取り入れてはどうでしょうか。

(事務局)

目標値については適宜見直しを行ってきましたが、定性的な部分も大切にしながら、よりよい目標設定ができるよう努めてまいります。

(委員)

アンケートなど定性的な評価も重要だと思います。生成A I を活用すれば定性的な意見の要約も容易にできますので、ぜひ取り入れていただければと思います。

(委員)

2点あります。1点目は、事業No.21「職員研修の実施」について、開催日は記載されていますが、参加人数がわかると規模感がつかめますので、人数も記載していただけると良いかと思います。2点目は、事業No.29「最新のデジタルツールに関する情報収集と導入の検討」に関連して、生成A I の現状の利用状況と環境についてお聞きしたいと思います。セキュリティの観点から、利用をOKとしているのか、また職員は実際にどのように活用しているのかお聞かせください。

(事務局)

研修の参加人数については、多い研修で約30名、少ないものは5名程度とばらつきがあります。今後は、万人に向けた研修は難しいですが、各職員に必要な研修の受け皿を作り、より多くの職員が参加できるよう工夫して取り組んでまいります。

生成A I については、運用ガイドラインを整備しており、チャットGPTやコパイロットの無料版をガイドラインの範囲内で自由に使えるようにしています。昨年度の調査時点では、職員の約半数にあたる250名以上が利用しており、毎日活用している職員から興味本位で少し試した職員まで幅広い状況です。今後は利用の裾野を広げていきたいと考えています。

(委員)

開催回数よりも参加人数の方が効果を計測する上では適していると思います。より多くの職員に参加いただけるよう取り組んでいただければと思います。

※ 事務局が「【資料1】第4期 喜多方市DX推進実施計画」のうち基本方針3(1)を説明。

【質疑】

(委員)

事業No.40「オンライン診療支援事業」について、令和7年度も手を挙げる医療機関が

ないとお話がありましたが、その後の状況はいかがでしょうか。令和8年度も同様の内容が記載されていますが、同じ取組を続けることで効果が見込めるのかお聞かせいただければと思います。

(事務局)

前回の会議でも同様のご質問をいただきましたが、今年度も現時点で手を挙げた医療機関は確認できていません。担当課でも状況の打開に向けて検討しているとは聞いています。来年度以降は事業内容の見直しを予定していますので、担当課と連携しながら整理を進めてまいります。

(委員)

なかなか医療機関に行けない方にとっては大変有益な事業です。手を挙げる医療機関が現れますよう、引き続きよろしくお願いします。

(委員)

わな猟免許を持っており、有害鳥獣対策にも取り組んでいます。昨今、山に入る人は限られており、特定の方が出没情報を必要としています。ウェブで公開しているだけではなかなか目に触れないため、できればプッシュ型で個別に情報をお届けいただけると、被害防止の効果が大きく高まるのではないかと思います。

(事務局)

いただいたご意見を担当課に申し伝え、プッシュ型通知など、よりよい情報発信の方法を検討してまいります。

(委員)

関連して、もう1点お願いがあります。市で獣マップを作成していますが、情報提供してもなかなか反映されないという声を聞きます。クマの被害が増えていますので、タイムリーな情報更新をお願いしたいと思います。また、防災無線はその地域への案内にとどまりますが、喜多方地区に住んでいる方が熱塩加納地区の畑に行く場合など、広域的に移動する方もいます。市全域に情報が届くような体制を整えていただければありがたいと思います。

(事務局)

有害鳥獣・クマ等の情報伝達については、災害情報連携システムや屋外防災無線、あいべあなど、地域限定の配信から全体への発信まで様々なツールがあります。現在あるツールの中でより効果的に情報を届けられる方法を、担当課に申し伝えて検討してまいります。

※ 事務局が「【資料１】第４期 喜多方市ＤＸ推進実施計画」のうち基本方針３(２)を説明。

【質疑】

(委員)

３点あります。１点目は、事業 No. 45「公衆無線ＬＡＮ（喜多方フリーＷｉ－Ｆｉ）の整備」についてです。この事業を計画した当時と現在では通信環境が大きく変わっており、今さら公衆無線ＬＡＮを整備しても誘客効果は限定的ではないかと感じています。時代の変化に合わせた見直しをお願いしたいと思います。例えば、災害時の避難所機能強化という観点であれば、無線ＬＡＮよりもスターリンクなど衛星通信の整備の方が有効ではないでしょうか。

２点目は、事業 No. 47「キャッシュレス化の推進」についてです。昨年度のポイント還元事業は利用者側への還元でしたが、事業者側は手数料負担が大きく、導入に消極的な方が増えていると聞きます。事業者側にもメリットのある仕組みを検討していただければと思います。

３点目は、事業 No. 56「小中学校 ICT 教育推進（指導者用タブレット整備）」についてです。私はＰＴＡ活動で学校に行くことがありますが、かなり古いルーターが設置されておりました。情報教育の推進と並行して、通信環境の整備も進めていただければと思います。

(事務局)

喜多方フリーＷｉ－Ｆｉについては、避難所などの拠点では最低限の通信環境が必要と考えますので、そういった観点も踏まえながら進めてまいります。スターリンクなど衛星通信についても研究・検討を進めてまいります。

キャッシュレス還元事業については、事業者側のデメリット（手数料負担の課題）についてのご指摘を担当課に申し伝え、よりよい事業の形を検討してまいります。学校のルーターについては、担当課に確認し、適切に更新が行われるよう取り組んでまいります。

(委員)

事業 No. 45「公衆無線ＬＡＮ（喜多方フリーＷｉ－Ｆｉ）の整備」に関連してお聞きします。私たちは指定管理者として施設を管理しており、市から福祉避難所の指定を受けていますが、現在Ｗｉ－Ｆｉ等の整備はなされていません。今後の計画に含まれているのかどうか、含まれていないのであれば優先的に整備していただければありがたいと思います。

(事務局)

社会福祉協議会などの福祉施設についても、同様に検討してまいりたいと思います。

(委員)

予算の問題もあるとは思いますが、指定管理料に含めていただければ簡易な設置も可能ですので、ご検討いただければと思います。

(事務局)

福祉避難所のWi-Fi整備については、以前、高齢福祉課で予算要求したことがありましたが、折り合わなかった経緯があります。委員のご意見も踏まえながら、引き続き検討してまいります。

※ 事務局が「【資料1】第4期 喜多方市DX推進実施計画」のうち基本方針 共通を説明。

【質疑】

(委員)

2点あります。1点目は、事業No.65「情報システムのセキュリティ強化」について、CSIRT(セキュリティインシデント対応チーム)の設置はセキュリティ対策の上で重要ですので、なるべく早く取り組んでいただくとよいかと思います。

2点目は、KPI・目標値の設定についてです。最近ではKGI(最終目標)を先に定め、そのゴールに達しているかどうかで取組の継続・見直しを判断する考え方もあります。すべての事業に適用するのは難しいとは思いますが、数値化しにくいものについてはアンケート等を活用して達成度を判断するなど、KPIだけに頼らない評価の仕組みを検討していただければと思います。

(事務局)

CSIRTについてですが、これまでもセキュリティインシデントへの対応は企画調整課情報統計係を中心には行ってきましたが、CSIRTについて情報セキュリティポリシーに明記し、組織的に対応してまいります。今後、セキュリティ委員会に諮り、正式なチームとして設置する予定です。

KGIについては、これまでKPI・数値目標を中心に設定しており、KGIという考え方を十分に意識できていなかった面もあります。今後検討してまいります。

(委員)

数値目標というよりも、どのような効果が上がれば成功といえるのかを先に定めることが大切です。参考になる事例もウェブ上に多くありますので、ゴールのイメージを具体化していただければと思います。

(委員)

事業No.33「避難行動要支援者(兼)個別避難計画登録制度」についてです。喜多方市では個別避難計画の策定を進めるとのことですが、その前提として避難行動要支援者台帳の整備が必要です。これを積み上げていかなければ個別避難計画にはつながりません。

要支援者台帳の早急な整備をお願いしたいと思います。要望です。

(事務局)

いただいたご意見を、福祉部門および登録制度の担当部門である危機管理課に申し伝えます。